

雫石町でのトレッキング

雫石町の北西部は十和田八幡平国立公園に属しており、町内にはいくつかの山があり、それらは様々な登山道で結ばれています。岩手山や烏帽子岳、秋田駒ヶ岳や三ツ石山など、さまざまな場所に行くことができます。登山経験者はもちろんのこと、のんびり歩きたい人にも、この地域の美しさを徒歩で堪能できる機会がたくさんあります。ここでは、雫石町の主なトレッキングコースを紹介するとともに、雫石町での滞在をより充実したものにするためのヒントを紹介します。

雫石でアウトドアを楽しむなら、「網張ビジターセンター」を訪れることをおすすめします。このセンターは十和田八幡平国立公園内にあり、レクリエーション活動のほか、岩手山や国立公園エリア内の他の山々の自然や歴史に関する総合的な情報を提供しています。2020年にリニューアルされ、AR（拡張現実）などのインタラクティブ技術を活用して、登山ルートを示す地形図などの情報を多言語で提供しています。

岩手山

岩手県の最高峰である岩手山（2,038m）の南西麓にあるのが雫石です。岩手の文字は「岩の手」を意味する。よく知られた伝説によると、悪い鬼が地元の人々を苦しめていたので、神が罰として岩山に縛り付けたという。解放を求めた鬼は、二度と人に迷惑をかけないことを約束し、その誓いの印として岩の一つに手形を押しました。その後、この地域の人々は、この山を神聖な場所と考え、山岳信仰の伝統が生まれました。網張ビジターセンターでは、岩手山の歴史や、岩手山が地域の宗教や文化に与えた影響についての情報を提供しています。

雫石から岩手山に登るのは、「御神坂コース」と「網張コース」という 2 つの大きなルートがあります。どちらも難易度が高いです。網張コースは、網張温泉スキー場を起点にしています。7月上旬から10月中旬までの特定日には、スキーリフトで1,350mを登って登山口まで行くことができます。また、秋には紅葉を見に来る人たちも利用します。

三ツ石山

三ツ石山には、峡谷に沿って歩くやや難しい滝ノ上コースと、距離が短く人気のある奥参道コースの2つの魅力的なコースがあります。三ツ石山は、日本の本州で最初に紅葉が見られる場所として知られています。また、冬には霜や雪に覆われた「スノーモンスター」を見るために訪れるハイカーも多い。

秋田駒ヶ岳

この山を登る国見温泉コースは中程度の難易度で、夏には高山植物の花などがたくさん咲くことで知られています。

烏帽子岳

烏帽子岳には、千沼ヶ原湿原を含む「滝の上温泉コース」があります。千沼ヶ原には、「千の沼」という名の通り、900 以上の沼があり、さまざまな高山植物が生息しています。スタジオジブリのアニメ映画のワンシーンにも登場しました。

網張の森

岩手山の南麓に広がるブナやミズナラを中心とした美しい森で、「網張の森自然小道」が整備されています。一周するのに約 1 時間かかるので、この地域の自然を知るための入門コースとして、また時間のない方にも最適です。どの季節に訪れても価値のある森ですが、特に秋の紅葉の時期には素晴らしい景色が広がります。また、冬にはスノーシューでの散策もおすすめです。隣接する網張ビジターセンターでは、伝統的な楕円形の和カンジキや現代的なスノーシューを借りることができます。定期的なツアーに参加することもできますし、グリーンシーズンにはアクセスできない森の中を個人的に探索することもできます。

トレッカーへのアドバイス

現在、そしてこれからの利用者が楽しめるように、自然環境の保護にご協力ください。花を摘んだり、鳥や動物に餌を与えたりしないでください。このエリアはツキノワグマの自然な生息地ですので、トレッカーはクマが近づくのを警告するために音を出すことをお勧めします。多くのハイカーは、バックパックやトレッキングポールに鈴を付けています。ハイキングを計画する際には、ルートや自分の体力を考慮し、天候に合わせて適切な服装をする必要があります。暖かい季節には、脱水症状や熱射病を防ぐために、大量の水を携帯することが必要です。経験豊富なトレッカーは、夏でも虫除けのために長袖・長ズボンを着用します。トレイルを歩いているときは、反対側から来た人に「Konnichi wa! (Hello!)」と挨拶するのが習慣になっています。最後に、トレッキングに出かける前には、万が一に備えて、自分の行き先を誰かに確認しておくことをお勧めします。